



青少年の居場所



福山市 市民局 北部支所

北部地域振興課北部生涯学習センター

高橋 文子



はじめに

青少年をとりまく環境

インターネットやケータイなどで時間を過ごし、さまざまな人たちと関わる経験が少なくなっている。

児童虐待、問題行動の低年齢化、子どもを狙った犯罪の頻発、不登校、ひきこもりなど、青少年に関するさまざまな状況が取りざたされており、深刻度は深まっている。

青少年が安全かつ健康に成長するとともに、ひとりの人間として自立して歩めるよう地域社会の中での「居場所づくり」や体験学習の機会、世代間の交流等による「地域の教育力」の向上がますます必要となってきている。

青少年が異世代との交流によって、豊かな人間性や社会性を身につけることができるよう、ふれあいの機会と場を提供することが必要です。

「居場所」という言葉から連想されるイメージ

- 人との関わりの中で、話を聞いてもらって、理解してもらって、心地よいと感じる状況
- 飾らない自分のすべてを受け入れ、認めてくれる人がいるところ。ありのままの自分、自分らしくいられる空間
- 他人の中で自分の存在が大きくなった、または分かり合えていると感じるとき
- 辛いことでも誰かと一緒に乗り越えられることで、その人との関係性が深まっていると感じられる状況
- 互いに受け入れ、受け入れられてという関係が成立したとき
- 子どもの居場所づくりをしている大人のボランティア活動自体がその大人の居場所になっている

(尼崎市HPより)

青少年の意見に見られる「居場所」に関する主なキーワード

- 落ち着ける
- 安心である
- 楽しい
- ありのまま・自分らしくいられる
- 誰かに気を遣わないでよい
- 存在が否定されず、理解し、認めてくれる誰かがいる
- 誰かとの関係の中で、自分の存在感が実感できる
- 誰かとの関係の中で、お互いに分かり合えていると感じる
- 誰かと一緒に活動していることが心地よい

(尼崎市HPより)

若者が使う公共施設を考えよう

- 公共施設のイメージ
- ☆ 暗い雰囲気（汚い、古い）
- ☆ 使いにくい
- ☆ 目的がないと入れない
- ☆ おしゃべりしてはいけない
- ☆ 飲食してはいけない

（ 尼崎市HPより）

青少年にとって使い勝手のいい公共施設とは

- 明るいこと、きれいなこと、安全なこと
- 無料または割引でつかえること
- 目的がなくても自由に入ることができること
- 同年代くらいが集まることができる場所であること
- 地域や世代（年齢が低い子どもを持つ保護者や、子ども、地域の大人など）を越えても交流ができること
- 定期的なイベントを実施すること
- イベントの企画に若者が関わること

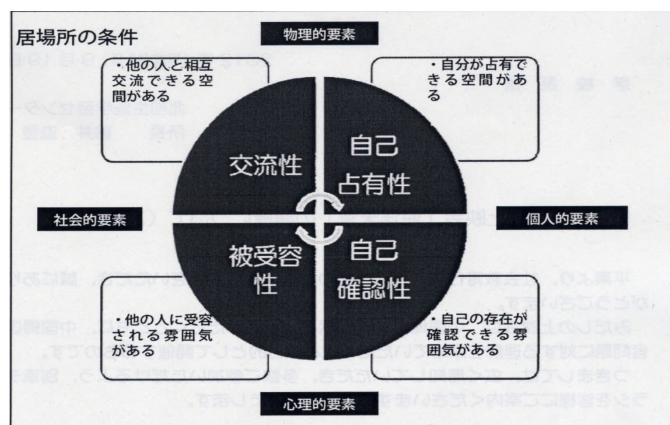
（ 尼崎市HPより）

公共施設に備わっていれば青少年が利用すると思う設備

- 音楽やダンスを楽しめる防音のスタジオ
- 飲食ができて、雑談ができるフリースペースがあること
- 仲間で互いに教えあいながら勉強できるスペース
- たたみ

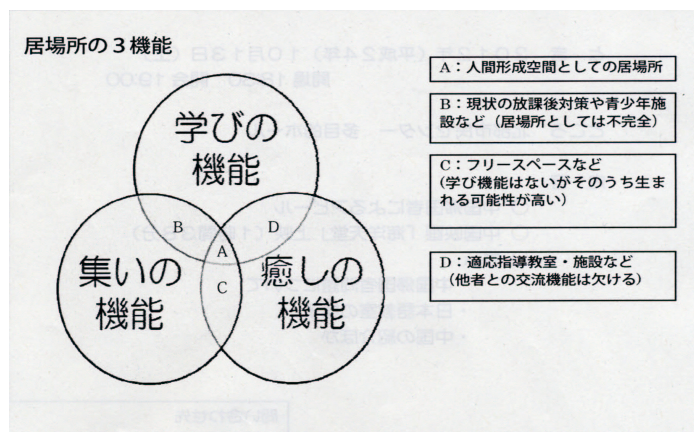
(尼崎市HPより)

居場所ってなんだろう 居場所が成立する条件



出展図書名「児童心理」2008年4月号 金子書房 論文「地域の中の居場所」日本文学 佐藤春雄

居場所ってなんだろう 居場所に備わる機能



出展図書名「児童心理」2008年4月号 金子書房 論文「地域の中の居場所」日本文学 佐藤春雄

- 同年代だけの集う場所を求めているわけではなく、他者との交流ができる空間
- 他者に自分が受け入れられている実感
- 顔見知りのおとなや相談を受けてくれるおとなともつながってほしい



同年代の仲間や地域の大人とのつながりや地域活動を基本に顔見知りの関係づくりを築くことにより居場所づくりにつながる

福山市の事例

- 青少年自立支援事業
社会体験活動プログラム

<目的>

創作活動，ボランティア活動，職場体験等の社会体験活動をとおして，できることを見つけ，つながりをつくり，社会参画につなげていく。

事業計画書

事業名	青少年自立支援事業
課題	青少年一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ，社会の一員として責任と役割を果たすことができる社会性，自立性，創造性を培っていく。
ねらい	青少年が気軽に参加し，参加者相互で知恵を出し合い，地域活動に参画していく。
目標	①ここにくれば安心する，ほっとする場にする ②お互いを認め合える関係づくり ③自分の特技や趣味を生かし，地域の活動に参画する
対象・定員	15歳～20歳の青少年(高校生含む)
参加費	原則無料（材料代は実費徴収）
実施日・回数	連続5回講座 月一回 金曜日夜間実施

事例より

コンビニから市民センターへ

あつまれ!



~あれもこれもしたい、こんなことしてみたい~

歌いたい・踊りたい・絵をかきたい・作りたい・つながりたい・・・
と思っているみんな集まれ!!

何をしたいかわからない

目的がもてない

誰かとつながってほしい

とき：5月～2月までの30回程度
対象：概ね15歳から20歳未満の青少年
内容：創作活動・ボランティア活動などの社会
体験活動
申込：4月27日（金）※期限終了後も随時受付を行
います。
申込先：北部生涯学習センター
（電話）084-976-9460（Fax）084-976-8150



☆自分が興味のある講座のみの参加でも大丈夫です。気軽に参加してください。

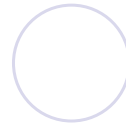
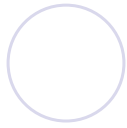
☆保護者の方の参加も可能です。

☆応募にあたって収集した個人情報は、この講座実施以外には使用しません。

まとめ

- 青少年の心身の発達や親の関わり方などに関する学習機会の提供や、仲間づくりを行い、他人を認め、自分も認められる。
- 自主グループの育成を図るための支援をすることで、地域活動やボランティア活動に参画するなど、青少年自らが、まちづくりの主役であるという意識を持てる

お礼



ご清聴ありがとうございました

